

平成20年度全国高等学校選抜自転車競技大会

この資料は監督会議で使用しますので印刷してご持参ください。

大会特別規則

競技運営委員長 山口 秀雄
総務委員長 中田 将次
審判長 福田 俊彦

トラック・レース, ロード・レース共通事項

競技規則は2008年(財)日本自転車競技連盟競技規則、及び2008年度競技規則解説に則り実施する。なお、この大会特別規則と競技規則解説の内容が異なる場合は、大会特別規則の内容を優先する。

(1) ライセンスコントロール

日時：3月21日(土) 9:00~14:30 場所：北九州メディアドーム 1階西モール入り口

(2) 監督会議

日時：3月21日(土) 15:00~15:40 場所：北九州メディアドーム 1階アリーナ会議室

(3) ヘルメット

JCF公認ヘルメット使用する。ただし、破損・劣化等の事由により安全が確保できない物の使用は認めない。また、競輪用ヘルメットの使用を認める。

エアロヘルメットの使用は、タイム・トライアル、パーシュート試合時のみとし、JCFで定められた製造品で公認されているもののみとする。練習時の使用は認めない。

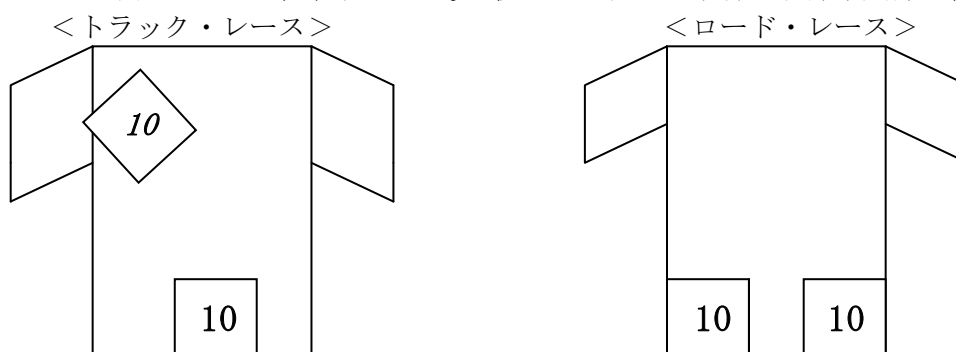
(4) フレーム関係の申請

①ブリヂストンサイクル社製カーボンフレーム(FPCPT)については使用を認め、これに類するフレームの使用希望である場合、または身体形態上の理由により規定外のサイズの自転車を使用する場合は指定の申請書(専門部ホームページより入手)を提出する。

②上記の申請書は、ライセンスコントロール時に学校単位(男女別)にまとめて監督が提出する。

(5) ゼッケン(ナンバーカード)

ボディナンバーは下図のとおり装着すること。1枚でよい種目の場合は腰部中央部に装着すること。



※肩番号は走路内側から読み取れるように左上がりの斜め向きに装着する。

※後方の移動審判から判別できるように装着する。ヘルメットの側面にはヘルメットシールを番号が確認できるように着用する。 ※女子は、ヘルメットキャップを着用する。

(6) 表彰式

表彰は、男子が1~8位、女子が1~6位の競技者を対象に各競技の決勝が終了次第随時行う。対象選手は速やかに集合すること。

<表彰会場>

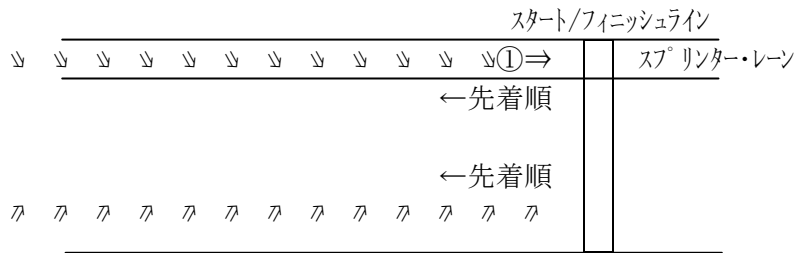
トラック・レース : 走路ホーム側特設ステージ

ロード・レース : ロード会場本部テント前 表彰ステージ

トラック・レース

- (1) ヘルメットカバー使用種目
ケイリン、ポイント・レース、スクラッチの3種目とし、配布・回収はホーム側走路指定場所で行う。
- (2) 選手控え所・および自転車保管庫
アリーナ内に各都道府県単位で設置する。夜間は施錠をするので各チームの責任において保管庫として利用することができる。
- (3) 走路の入退場
入・退場は階段状のロールバック席を利用する。走路への入場はホーム側、走路からの退場はバック側にそれぞれ限定する。
- (4) 招集
アリーナ内（ホーム側）に1箇所設置する。出走意志・ジャージ・ボディナンバーの確認およびケイリンの抽選を実施する。
- (5) 自転車検査
アリーナから走路に入る自転車はすべて検査の対象とする。（無作為抽出）自転車が走路からアリーナへ一旦退場した場合には、再入場時に再び検査の対象となる。指摘されたポジション等の修正がスタート時間に間に合わない場合はレースに出走することはできない。代車も同様とする。
- (6) スタート準備
タイム・トライアル、パーシュート、ケイリン以外の種目については、各チームのスタッフが、ホルダーをつとめる。ホルダーは、選手を押してはならない。
- (7) ギヤ比チェック
競技終了後、指示された競技者は、ギヤ比チェックを行う。
- (8) 競技者への指示許可場所
 - ①タイム・トライアル、パーシュートについてはスタートライン付近の指定場所に1名認める。
 - ②ポイント・レース、スクラッチについてはバック側直線の指定場所に1名認める。その際、選手のヘルメットカバーと同じ番号のビブスを着用し、担当役員の指示に従うこと。従わない場合は当該者および同チームの走行競技者に対してペナルティを与える。
- (9) タイム・トライアル
スターティングマシンを使用し、ホーム・バック同時スタート方式とする。
(プログラム・スタートリストのH/Bの記号はフィニッシュ側を示す。ただし、女子の500mTTは、スタート位置を示す。)
- (10) スプリント
予選上位12名によりトーナメントを実施する。競技は1/8決勝、1/8決勝敗者復活戦、1/4決勝（2回戦制）・1/2決勝（2回戦制）・順位決定戦の順で実施する。
- (11) インディヴィデュアル・パーシュート
 - ①スタート方法 タイム・トライアルと同様とする。
 - ②勝ち上がり方法
予選上位1・2位の者で決勝を、予選3・4位の者で3-4位決定戦を実施して順位を決定する。
5～8位は予選のタイムにより順位を決定する。
- (12) ケイリン
 - ①スタート位置 中央線より横一列に並ぶ、ホルダーは各チームがつとめる。
 - ②ペーサー離脱速度・位置 45～48km程度、残り1.5周（残距離600m）付近とする。
- (13) スクラッチ、ポイント・レース
 - ①男子スクラッチは予選6km、決勝8kmで実施する。決勝は予選5組の上位各4名による20名で行う。女子スクラッチは予選4km、決勝6kmで実施する。決勝は10名で実施する。
 - ②ポイント・レースは予選16km、決勝24kmで実施する。決勝は、予選3組の上位各8名による24名で行う。
 - ③スタート・リストにより、インレーン・スタート（スプリンターレーン内より）、アウトレーン・スタート（走路外側より）の競技者を参加競技者の約半数ずつ指定する。発走員の指示の後、各競技者はそれぞれ指定されたレーン内に先着順でスタート位置につく。（隊形は下図参照）ただし1番のヘル

メットカバーの選手はインレーンの先頭からスタートする。1周の競技外周回の後、正式スタートとする。



④違反行為に伴う競技中の「注意」指導は放送により行う。また、競技中における「警告」は黄色旗（もしくはカード）、「失格」は赤色旗（もしくはカード）を対象選手のヘルメットカバー番号と同時に示す。

⑤代車・代輪を準備する場合は、チームスタッフは1-2コーナーの中間、3-4コーナーの中間の指定の地点に待機することを認める。声援を送る、指定の場所から外れる等、担当役員の指示に従わない場合は、当該者および同チームの走行競技者に対してペナルティを与える。

ロード・レース

(1) 計測チップの配布

日時：3月21日（土） 9：30～14：30 メディアドーム 西アリーナ入り口

(2) 招集・検査

日時：3月22日（日） 7：00～ 7：40 グリーンパーク 本部テント付近

スタート前 ジャージ・ヘルメットのチェック、サインシートへの記入（フルネーム）

フィニッシュ後 上位20名程度は自転車・ギア比検査を実施する。場所は監督会議で連絡する。

(3) スタート時刻・位置

①男子 3月22日（日） 8：00 女子 8：01

②シード 男子は昨年度の選抜大会上位競技者をシードとし最前列に位置する。その次に、埼玉インターハイにおける個人ロード・レース上位競技者を優先する。その他は先着順とする。

(4) 走行

グリーンパーク北ゲート付近からパレード・スタートをし、公園内を周回後、コースに入る。1周目の洞北中学校前折り返し地点通過後の上り付近において審判車両の合図により正式スタートとする。

1周7kmの周回コースを男子は11周回・76km、女子は6周回・41kmで競技を実施する。

※練習をする場合は、交通規則を遵守してコースの状況の確認をしておく。

(5) 中間スプリント賞

男子は2・4・6・8周回目、女子は2・4周回目のフィニッシュ地点を先頭で通過した競技者に中間スプリント賞を与える。

(6) 補給について

①コース上での飲食物の補給は指定場所のみ認める。詳細についてはコミュニケで連絡する。

②ニュートラルサービスについて、主催者側でニュートラルカーを、男子に2台、女子に1台（コミセールカー兼任）用意する。ニュートラルバイクについてはコミュニケで発表する。

(7) 関門での打ち切り

関門所をフィニッシュ橋の手前地点とし、男子は各周回8位通過から5分以上遅れた競技者を打ち切りとして除外する。ただし最終周回は打ち切りをしない。女子については1周回遅れになると判断される競技者について除外することがある。

(8) フィニッシュ

①フィニッシュ時は、計測のために敷設しているゴムマット上を必ず通過する。

②競技終了後、計測チップを回収する。紛失した場合は実費を請求する。